

～学長の交代～

新学長に小口彦太理事が就任

【2016年4月1日 江戸川大学】

市村佑一学長の平成28年3月31日付け任期満了に伴う後任として、小口彦太氏（学校法人江戸川学園理事、前早稲田大学法学学術院教授）が選任されましたのでお知らせします。任期は、平成28年4月1日から平成32年3月31日までの4年間となります。

～～新学長のプロフィール～～

【氏名・年齢】 小口 彦太（こぐち ひこた）・満69歳

【学歴】

昭和44年 3月 早稲田大学第一法学部卒業
昭和46年 3月 早稲田大学大学院法学研究科修士課程修了
昭和49年 3月 早稲田大学大学院博士課程満期退学
平成16年10月 法学博士

【職歴】

昭和46年 4月 早稲田大学法学部助手
昭和49年 4月 早稲田大学法学部専任講師
昭和51年 4月 早稲田大学法学部助教授
昭和56年 4月 早稲田大学法学部教授
平成10年11月 早稲田大学教務部長（～平成14年11月）
平成14年11月 早稲田大学理事（～平成17年11月）
平成15年 6月 早稲田大学国際部長（～平成17年11月）
平成17年11月 早稲田大学常任理事（～平成18年11月）
平成19年 4月 早稲田渋谷シンガポール高等学校校長（～平成28年3月）
平成21年 9月 学校法人江戸川学園理事（～現在に至る）
平成22年 4月 早稲田大学アジア研究機構長（～平成27年3月）

【専門】 中国法、中国法史

【主な著書・論文】

『伝統中国の法制度』（単著・成文堂）、『現代中国の裁判と法』（単著・成文堂）、『入門中国法』（共編著・弘文堂）、『現代中国法』（共著・成文堂）、『中国の政治―開かれた社会主義への道程』（曾憲義と共編・早稲田大学出版部）、「中国契約法における危険負担の基礎的研究」『比較法学』48,3,2015、「中国契約法における不安抗弁権小論」『比較法学』48,2,2014、Some Observations about “Judicial Independence” in Post-Mao China (Boston Collage Third World Law Journal) 7,2,1987 など

本件に関するお問合せは下記までお願いします。

江戸川大学広報課
〒270-0198 千葉県流山市駒木474
TEL.04-7152-0661（代） / FAX.04-7153-5904
mail : kouhou@edogawa-u.ac.jp